

進路指導部だより

令和4年度

第3号

今号では、『A部門中学部の「進路」につながる取り組みについて』お伝えします。

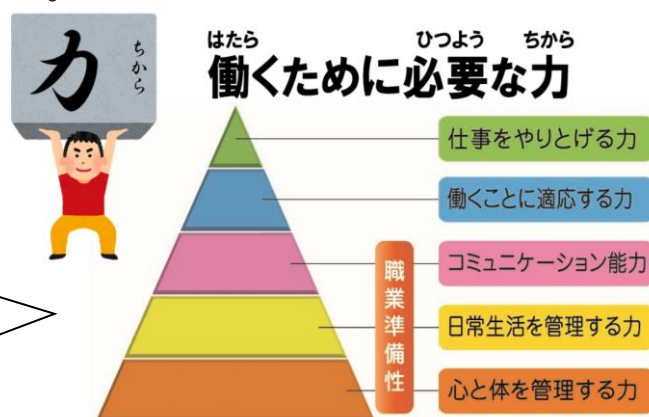
本校のA部門中学部では、小学校又は小学部で積み上げてきた経験やスキルをさらに伸長し、自分に自信をもつこと（自己肯定感）を増やし、さまざまなことに挑戦する意欲につなげていきます。また、他者を意識していきながらも、自分自身を知ること、苦手なことにも目を向けて、苦手なことに対してどのように対処していくかということも、将来の生きる力として必要になってきます。そのために、普段の生活を大切に、保護者の皆様と連携を図りながら、よりよい生きる力を身に付けていってほしいと思います。

＜普段の生活におけるポイント＞

- ◆身だしなみ→服装、入浴、爪・頭髮等衛生
- ◆健康管理 →規則正しい生活、食事と睡眠、服薬
- ◆対人関係 →挨拶、返事、手伝いの継続、言葉遣い
- ◆集団・組織→約束、ルールの遵守

このピラミッドが生徒一人一人に存在し、「日常生活を管理する力」が「働くための土台」になるとの考えから、この土台を着実に踏みかためていくことに重きをおいて指導しています。

参考資料：職業準備性のピラミッド



参考：独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構

「令和3年度版 就労支援ハンドブック」を一部変更して引用

進路の選択肢～**中学部卒業段階**での進路選択～



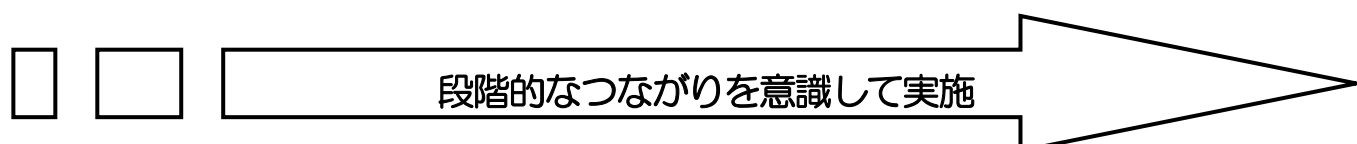
学部懇談会、進路懇談会等の資料より抜粋

～ 中学部の“教科”による つながり ～

中学部の教科による指導の中で、進路選択の広がりにつながっている授業を紹介します。

公共交通機関の利用や様々な施設での見学、体験を通して、段階的に“働く”ことへの意識を高めていけるようにします。

	1 年	2 年	3 年
職業・家庭	「会社見学にいこう」 (仕事や働くことについて考える)	「職場体験をしよう」 (働くことを体験しながら、必要な力を考える)	「働くことについて考えよう」 (事業所を見学し、将来を具体的に考える)
総合的な学習の時間	「ルールやマナーを考える」 (公共施設を利用して、ルールやマナーについて学習)	「公共交通機関を利用する学習 及び買い物学習」 (行動範囲を広げ、その中で金銭の学習を行う)	「環境学習及び自然体験」 (自然について体験的な学習を通して理解を深め、郷土への親しみを深める)
校外学習	つくばエキスポセンター ウエルシア	洞峰公園(清掃体験) イーアスつくば つくばエクスプレスの利用	福祉施設見学 国立科学博物館筑波実験植物園



校外学習等のねらいについて

校外学習での見学や体験的な活動を通して、働くこととはなにか、働くにはどんなことが必要になるのか、なぜ働くのかといったことを考え、様々な視点から学習に取り組むことにつなげていきます。

校外学習は、毎年検討を重ねて行先を決定しています。

会社見学

会社見学を通して、働く態度や衛生面に関する配慮事項等、職業や進路に関わることについて理解することができるようにします。また、身近にある商品に関心を持ち、職業生活を支える社会の仕組みなどがあることを知ることができるようにします。

洞峰公園(清掃体験)

令和4年11月10日に、中学部2年生の生徒が洞峰公園に行き、清掃活動を予定しています。昨年度の活動としては、体育館で、パイプ椅子の拭き掃除やごみ拾い、モップ掛けを行いました。屋外では、落ち葉掃きを行いました。洞峰公園で清掃業務を行っている方々に直接指導いただいたことで、働く上で必要な心構えや責任感などについて考えるととても良い機会になっています。

福祉施設見学

中学部3年生では、卒業生の働く福祉施設等を見学することで、仕事内容を理解したり、働くために必要な条件について考えたりする機会を設定します。また、卒業生等に質問をして話を聞くことで、働くことへの関心を高め、自分の進路について考える機会を設定します。